

### コロナ禍で公式行事自粛中

3月総会は6月に延期後、中止した。各部会とも公式行事は自粛中。会員有志の活動は、事務局に連絡することとしている。

会報、5月と12月末の2回、増頁し発行した。

世話人会を10月及び12月に開催、公式活動は2021年3月末まで自粛継続し、総会は、オリンピック前の6月を目標に、4月に日程を会員に連絡することとした。会場の二楽荘は6月予約予定。部会有志の活動は、事務局に連絡する原則を再確認した。

30周年記念委員会を設け、総会で三十年を振り返るトークを計画している。

#### 目次

三十周年を祝して	(1)	酒井尚平	
図で見る湘紅会	(2)		
事務局報告	(3)	相田康宏	
部会報告	(3)		
万歩会	有地幸雄	ゴルフ会	倉上雅彦
会員随想			
万歩会	青山勝 有地幸雄 植松滋		
川嶋寿彦 相田康宏 宮崎允伸	(4)-(6)		
ゴルフ会	徳永良輔 大島隆三 岡崎誠之助		
坂本仁司 実方洋	(6)-(7)		
酒悦会	児玉利幸	(8)	
囲碁部	松永茂岐	(8)	
唄会	鋤柄正雄	(9)	
湘遊会	塩川明男	(9)	
湘紅歌壇	原知廣 岡崎誠之助 伊賀山欣也	(10)	

### 三十周年を祝して

代表世話人 酒井 尚平

湘紅会は1991年設立、今年三十周年を迎えました。創立会員は戦時中に青春を過ごし、復興の時代に、商社マンとなられた方々、「ジャパン・アズ・ナンバーワン」のピーク、1990年頃まで活躍され、一線を退かれました。その後「失なわれた20年」が続きましたが、湘紅会は「楽しむ30年」を目指し発展してきました。

湘紅会発起人の安積弥一郎さん、松本俊一郎さん、福田耕三さんに感謝し、会の充実に寄与された、内田正夫さん、山内啓正さん、左右津国男さんはじめ多くの世話人の方々に敬意を表します。

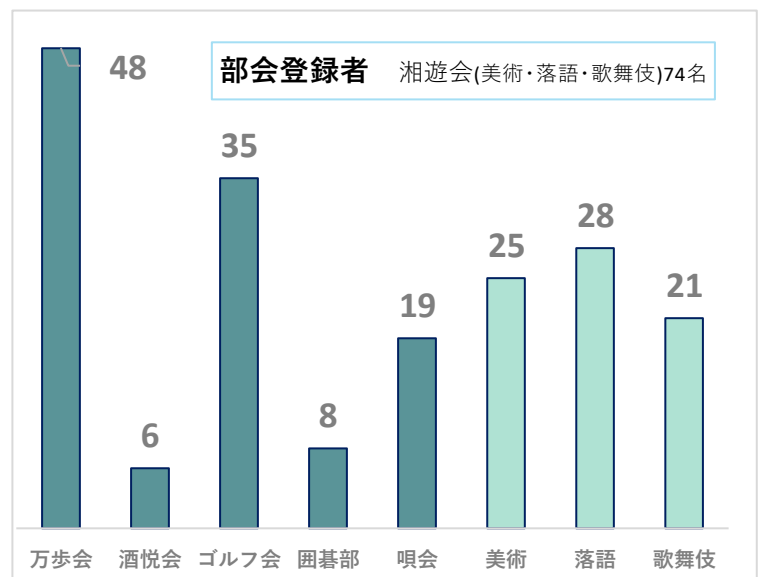
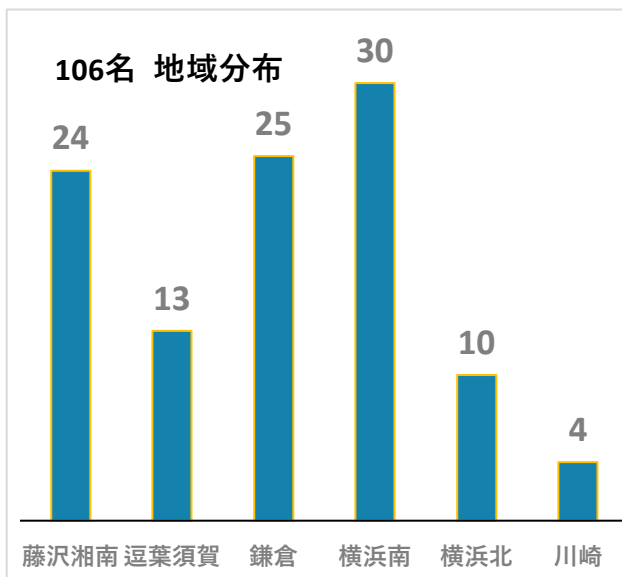
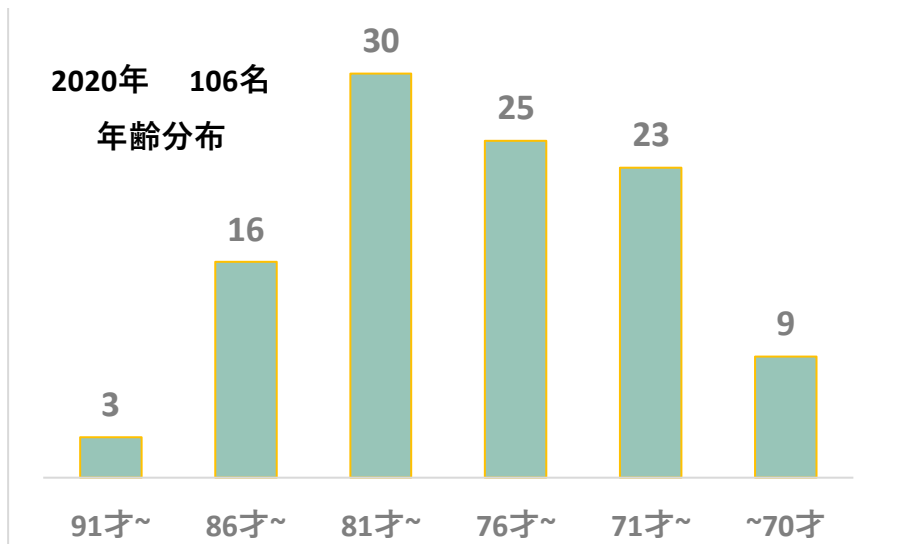
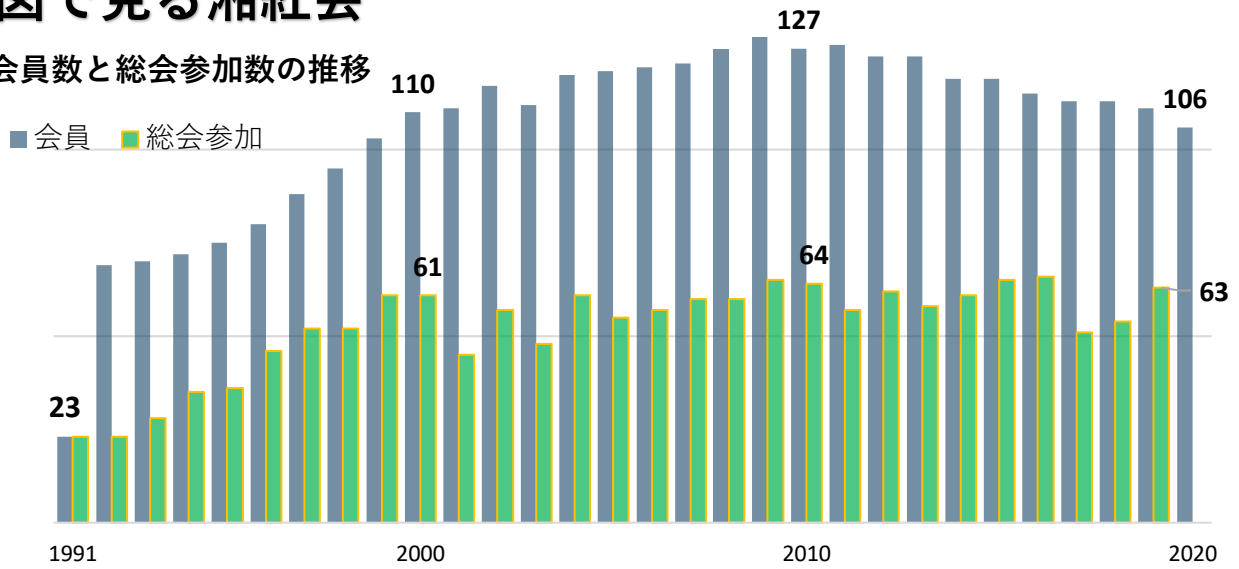
酒悦会、ゴルフ会と万歩会が初期の主役、ゴルフは芙蓉の予約が難しく、福田さんの交渉力で、主戦場となり、13組参加の記録があります。万歩会は、これまで287回開催、最多参加数は40名でした。酒悦会の児玉さん、囲碁部の松永さんのご尽力も思い出深いものです。唄会は順調。二年前、美術・歌舞伎・落語を楽しむ湘遊会が発足、延べ74名が登録しています。現会員105名、80才以上がほぼ半分、平均年齢は79才、今年、新会員3名を迎えました。

コロナ第三波が拡大中です。湘紅会の交流を保つよう会報を増頁発行していますが、会えない、話せない、グループ活動できずで、我慢の日々が続きます。健康第一に公式行事は自粛を続けたく、ご理解のほどお願いします。企業や大学はテレワーク、オンラインで、20人以上の会議や懇親会が普及しています。世話人同士でZOOM会を試めしていますが、外出会合やメール交換に比べ、簡単なので、活用を検討したいと思います。

新年は、世の中が明るくなることを期待しています。よい年をお迎えください。

# 図で見る湘紅会

## 会員数と総会参加数の推移



(注) 数字は2020年春現在。

## 事務局報告

相田康宏

湘紅会報 4 号を 5 月に発行以来、本来、陽気の良い時期なので各部会が活発に活動されている筈でしたが、今年コロナ対策に終始しました。

3 月総会を 6 月に延期、結局中止しました。更に感染が続き、7 月、代表世話人から湘紅会公式行事を自粛する方針が出されました。規制は好ましくなく、各部会有志の活動は事務局に報告いただくことになり、皆さんご苦労されきました。巣籠り派がいれば行動派もいて、三密に注意し工夫された半年間でした。

来年は創設 30 周年になるので、記念事業を検討する委員会が設置され、4 月以降、4 度の委員会を開催して検討を重ねてまいりました。委員会での検討結果は、先般 10 月に開催された世話人会に報告され承認されました。

12 月の世話人会で、公式活動の自粛を 2021 年 3 月まで延長すること、総会の開催についても 3 月開催を断念 6 月をめざすことを決め、その間のつなぎとして湘紅会報第 5 号を 1 月に発行することになりました。

### 本年 3 月以降の会員異動（現会員数 105 名）

ご逝去された方 4 名

柿沼茂正氏 2020 年 3 月 片西修造氏 5 月  
千葉宏次氏 6 月 前田信吉氏 9 月

新会員 3 名

森 道郎氏 2020 年 5 月 渡邊義夫氏 5 月  
中前 寛氏 10 月

退会 2 名

**オンライン会議** コロナ禍で社会活動のオンライン・テレワークが進む中、世話人会有志で ZOOM を活用し打合せをしている。

**事務局連絡先** 相田康宏

0467-43-6337 yaita1947@nifty.com

## 部会報告

酒悦会 唄会 囲碁部 湘遊会は特記事項なし。

### 万歩会

有地幸雄

2020 年の第 286 回の 1 月度、恒例鎌倉七福神巡りで万歩会（参加者 19 名）、第 287 回の 2 月度、オリンピック競技場である日産スタジアムから大倉山梅園に参りました。（参加者は 18 名）梅が立派に咲いていました。

第 288 回の 3 月度大船観音から玉縄桜を見て大船フラワーセンターに行く予定は、新型コロナウイルス感染症が発生し、皆様の安心と安全を考慮して団体行動を自粛することにいたし中止とし、12 月まで中止を続けております。

2021 年度の催行予定も出来ておりますが、どの様に催行するか、万歩会世話人会で検討し、年始に、皆様にご連絡したいと思います。

### ゴルフ部

倉上雅彦

2019 年公式コンペ開催日および参加人数。

3月26日 18名 7月24日 18名

9月25日 17名 12月4日 17名

年会費を 2020 年より 2,000 円（従来の 1,000 円から）に値上げを決定。ただし、2020 年、3 月、7 月、9 月の公式コンペは自粛した。9 月と 12 月は芙蓉のコロナ対応策に合わせて有志会とし開催した。公式コンペは、コロナ禍の現状では開催できず、年会費 2,000 円への値上げは、2021 年からとした。

休会者および部会員でコンペにほとんど参加しないメンバーに対し、年会費を払って部会員として残るか問い合わせ、これらの方々は全て退会されることになった。その結果、新加入した 2 名加え、現在の会員数（アクティブ会員）は 34 名となった。

### 万歩会

#### 万歩会の思い出

青山 勝

大先輩の内田さんの後を受け、2011年より約5年間、万歩会代表世話人を務めさせて頂きました、数多くの万歩会の中でも最も印象深いのはやはり遠出した尾瀬沼散策と上高地散策です。

尾瀬は2006年と2010年と2回行っておりますが、1回目の尾瀬は珍しく6月でも残雪が多く尾瀬小屋から沼山峠への登りは雪中行軍となり皆滑りながら苦労して帰路についたのが印象的でした。



2011年万歩会としては初めての上高地散策を7月14日から一泊2日の行程で行きました、バスセンターから、山岳小説新田次郎の氷壁の壁の舞台となった徳沢園まで梓川の清流を左に見て、途中明神池に寄り約2時間の散策をいたしました、この2日間晴天に恵まれ一日中穂高連峰が朝から夕方まで望めたのは本当にラッキーで初めての事でした、私の経験ではよく見えても午前中だけで午後からは雲が懸かり帰る頃、山は雲隠れしておりました。奥穂高は学生時代山岳部の先輩と、涸沢からジャンダルム経由、頂上へ水も飲まされず登った、苦しくも楽しい思い出があります。いずれのバスツアーも、多数の奥方の参加があり和気あいあいと非常に楽しい万歩会でした。

#### 万歩会 30年・そして 300回目 有地幸雄

第1回目の万歩会が1991年5月26日に「鎌倉アルプス散策」として催行され、それから30年諸先輩のご協力のもと催行され続け、2021年5月度に300回目を迎える予定でした。しかしながら「新型コロナウイルス感染症」の発生により2020年2月度の第287回「大倉山梅林散策」で中断を余儀なくされ300回目は残念ながら2022年に持ち越されました。

万歩会の30年を振り返ってみようと思います。近郊のハイキングが主となっていましたが、1995年2月には酒悦会と合同企画で丸紅来宮荘に最初の宿泊旅行をしています。それから1995年10月に尾瀬に一泊旅行、それから箱根に6回（主に丸紅仙石荘利用）、尾瀬にもう2回、2007年7月には霧ヶ峰、2011年には上高地と宿泊旅行を催行しております。

又2003年11月には天城越えの日帰りバス旅行が催行されました。その後バス旅行は西沢溪谷・碓氷峠・佐原と水郷のあやめ巡り・忍野八海・忍城址とさきたま古墳と続けてまいりましたが、2016年1月の軽井沢スキーバス転落事故が発生し貸し切りバス代金が値上がりしその後は中断されております。又復活させたいものと思っております。



(羽田空港見学)

そして2009年12月から横浜散策の後、中華街での忘年会が始まりました。忘年会には毎回30数名の人

が集まり和気あいあいと語り合いお酒・料理をいただき1年を締めくくっております。そして翌年1月の七福神巡りで新しい年の万歩会を開始しております。

新型コロナウイルスに負けない健康ウォーキング運動を目指してこれからも万歩会を進めていきたいと思っております。300回目の万歩会目指して……。

(記録は、内田先輩作成の万歩会実施表を使用させていただきました。)

## 月30万歩の朝練

植松 滋

万歩会で約18年先輩諸兄とウォーキングを楽しんできました。緊急事態宣言で2月の大倉山観梅(第287回)以降は中断しています。その内に世話人を任せられ、主に自然豊かなハイキングコースの先頭を歩きました。なかには大山登山や西沢溪谷などかなりハードな冒険ルートもあって、振り返れば無茶なことをしたと反省しきりです。懐かしい思い出としては、少し前に一泊二日で尾瀬沼、上高地、霧ヶ峰などへのバスハイクを年一度は企画・催行したことです。なかでも2006年の6月・水芭蕉の咲く頃、尾瀬ヶ原は鳩待峠から入り尾瀬小屋に泊まって沼山峠に抜けました。参加者は9組のご夫妻を含め31人。曇り時々雨の煙るなかを絵葉書のような木道が続く草原を二日間で22キロを無事に歩き通し、特に会津の沼山峠越えは残雪を踏み歩く荒行でした。あの頃は皆さんお元気で健脚揃いでしたね。

時は経過して今では万歩会の催行は名称通りの一万歩をクリアーできるかと心配するほどの緩やかなコース設定もあって少し残念に思っています。2021年の予定表はできましたが、さあWITHコロナの時節柄どう実施するのか。三密回避策などの実行を徹底し仲間への信頼と自己責任・自己判断に委ねるしかないでしょう。80才になり脚力は健康のバロメーターであると確信していますが、このブランクの体力劣化をカバーすべく辻堂海岸を2時間の速歩で月30万歩をめどに朝練に励んでいます。

## 印象に残る万歩会

川嶋寿彦

① まず、訪問地ベスト5とのことですが、毎回、素晴らしいコース選択で文句なし、下記するのは、ベスト5ということではなく、特に印象に残ったコースです。他にも沢山あり、どれをあげようか迷いましたが、やはりバス旅行は記憶鮮明です。

- a) 佐原、香取、潮来(バス) 2013年6月
- b) 富士吉田、忍野八海(バス) 2013年9月
- c) さきたま古墳群(バス) 2014年3月
- d) 曾我の梅林 2017年2月
- e) 宮ヶ瀬ダム 2018年9月

## ② 横浜3ビル(キング、クイーン、ジャック)が一望できるポイント

2014年の忘年会の日、リーダーからキング(県庁)、クイーン(税関)、ジャック(開港記念館)の3ビルを一望に望めるポイントが3か所あると教えられ、順次そのポイントを回った。本牧に住んでいた頃は山下公園近辺をよく歩いていたものだったが、このことは始めて知った。こりゃ使えと以来、友人に横浜案内するときはこのポイントを回ってひとしきり蘊蓄を披露している。コロナが落ち着いたらまた3か所を巡り、中華街順海閣の豚バラそばを食べたいものだ。

## 鎌倉七福神めぐり

相田康宏

万歩会の一月行事は数年前から鎌倉七福神めぐりである。私は当番で先導役を務めている。鎌倉七福神は、北鎌倉の浄智寺(布袋尊)から始まる。いつも門前に蠟梅が美しく咲き誇り迎えてくれる。それから鶴岡八幡宮(弁財天)、宝戒寺(毘沙門天)、妙隆寺(寿老人)、本覚寺(夷尊神)、長谷寺(大黒天)と続き御霊神社(福祿寿)で満願となる。松の内が明けた1月中旬に実施しているが、お天気も安定していて空気もピリッと締め、お正月で鈍った体に心地よい。2020年はコロナに振り回されたが2021年は実施できるのだろうか、良い年になってほしい。



## 万歩会について

宮崎允伸

万歩会は1991年5月の鎌倉アルプスウォーキングから始まったとのことですが、今日まで約30年の歴史があり、実施回数も後2～3年で300回を迎えます。私は2016年に初めて参加し、今年の2月迄

40回のうち32回参加させて頂きました。毎回20数名の参加者ですが、皆さんは集合場所に行くだけで、後は世話人の方に引率されるまま、いつも安心して楽しそうにお喋りしながら歩いています。

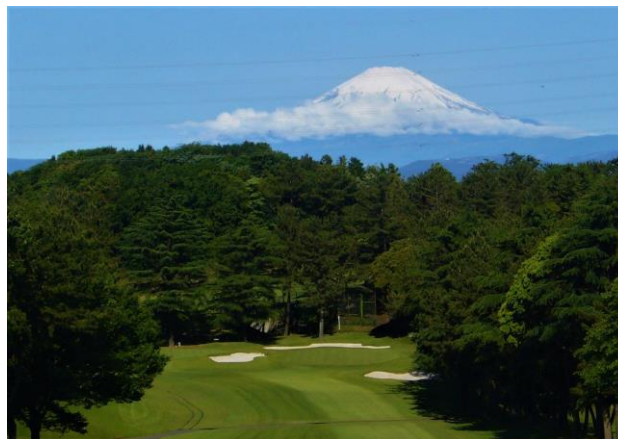
コースは、年初は鎌倉七福神巡り、年末は近隣を散策後中華街での忘年会と大体決まっていますが、中には一人で出かけることはないかなと思うような所もあります。しかしながら大勢なので退屈することもなく何処へ行っても何か思い出に残っています。これもひとえに世話人の方々のお陰だと思います。年間の日程を企画し、コースの下見を実施の上、集合場所、時間、弁当持参の有無等々を会員に事前に連絡し、催行しているものです。

これまで参加した中で印象深いコースとしては、アジサイ公園経由アサヒビール工場。真鶴岬三ツ石海岸。猿島。二宮吾妻山の菜の花、富士山眺望。宮ヶ瀬ダム放流。城ヶ島、馬の背洞門。都内の、目黒川桜並木。迎賓館。豊洲市場。等々が挙げられます。

今年の3月からコロナ禍で、同窓会、友人との飲み会、等々中止となり、この万歩会も催行が中断されていますが、毎月一回のこととは言え、万歩会が無いと何か物足りない、寂しい気分になっています。

早くコロナが収束し、これまでのように皆さんと一緒に歩くことができる日が来ることを祈っています。

## ゴルフ部



芙蓉 CC 10 番

## 湘紅会ゴルフ 30 年

徳永良輔

私が湘紅会ゴルフに参加するようになったのは、確か、関係会社 富安株式会社を退社してからだったので、2001年頃からだったと思います。当時は、今と比べるとゴルフは盛んで、参加者も毎回40人くらいはいたと思います。ブームの中、人気の芙蓉CCで10組前後の枠を確保するのは大変だったと思います。又、昨今のようにメールがそれほど普及しておらず、幹事さんにとっては、出欠をまとめ、案内を出すのは、大仕事だったと思います。それを、今は亡き福田耕三さんは、何事もなかったような顔をして、常に笑顔を絶やさず纏めてくれました。コンペ終了後も大勢の人がパーティに参加され、にぎやかだったことを思い出します。競技では、私も昨今では、常に熾烈なブービー争いの中にいますが、参加した当時は、上位入賞とかドラゴン賞とかで、ずいぶん稼がせてもらいました。

私より先輩もまだ一人二人頑張っておられますが、もう86歳も半ばになった私は、参加しても、皆様の手足纏になるばかりで、このゴルフ会も、私にとっては、そろそろ思い出のシーンになってきました。皆様のますますのご健闘をお祈りしています。

## 悪魔の囁き

大島隆三

当部会員のゴルフ競技力は経歴の長い人ほど高齢化により低下または低迷を余儀なくされており、ゴルフの仕方、楽しみ方を変えざるを得ないのが実情であろう。このような現実を理解しつつもいざコースに立てば冷静さを失い、実力以上の攻め方をしてしまう自分に気づく。その一例を経験に基づきあげてみよう。コースは アウト NO. 3 HDCP 15 の比較的距離の短いホールである。腕に自信のある飛ばし屋ならワンオンも可能であろう。ここは安全に左サイドに打っていけばパーは取れそう。ティーインググラウンドに立つ、80%くらいの力で素振りする、調子は良さそう、左サイドに打っていけばパーは取れそう。左前方の立木の方向にスタンスをとり、ティーショットの態勢にはいった。バックスイングを入ろうとしたその時である、なにか囁きのようなものがきこえてきた。“さてよ、ここは思い切って振ってグリーン近くまでもっていけば、パーは取れそう、バーディもあるかも”と。耳からというより頭のどこからか聞こえる囁きのようだ。スタンスは予定通りだ、しかし気持ちは整理ができていないままにスイング態勢にはいった。バックスイングに力が入る、特に上体に、そして思い切り左サイドに振りぬいた。ボールは意識と真逆の方向に飛び出した、そして右前方の崖下（OB ゾーン）に消えていった。その後どのようにプレーしたか記憶が希薄である。悪魔の仕業か、又もやられた。マインドコントロールといった格好いい言葉もあるが、出来た例がない。これからも悪魔の囁きと仲良く付き合っていかなざるを得ないのかもしれない。

## 湘紅会と芙蓉カントリー

岡崎誠之助

今年に入ってから湘紅会ゴルフコンペはコロナ禍の為自粛中ですが、それでも屡々声を掛け合って大気の中で Olympic (?) に励んでいます。

ゴルフ部は創部以来 145 回開催。現在のアクティブメンバーは 88 歳の先輩を筆頭に 35 名。最初の頃は

鎌倉カントリー等会場確保が大変だったとか。20 年位前、福田世話人代表が当時の芙蓉支配人の佐々木さんに相談され、丸紅 OB 料でスタートも確保され、以来、芙蓉での開催となっています。

ご存知の様に開場以来 58 年を迎えた芙蓉カントリー倶楽部は、ある時代 F グループの象徴の場でもあったのです。我々丸紅出身ゴルファーにとって、この聖地とも言えるゴルフ場に集い楽しんでプレー出来る事がありがたい事だと感じるこの頃です。



## 私と湘紅会ゴルフ部会

坂本仁司

2012 年に湘紅会ゴルフ部会に入会して OB の皆さんとゴルフコンペを楽しんでいますが、2020 年に突然人類を襲ったコロナ禍は、感染症の感染リスクを減らす為に人と人との接触機会を少なくして、外出時はマスクを着用するなど世界の人々に生様式の変革を強いることになりました。

屋外スポーツのゴルフは相対的に感染リスクが低い運動ですが、それでも影響を受けてキャディさんはマスクの着用をすることとなり、湘紅会ゴルフ部会もプレイ後の懇親会での感染リスクを懸念して例会は開催中止です。コロナ禍が 1 日も早く終息して、会員が芙蓉カントリークラブで湘紅会ゴルフコンペを存分に楽しめる日が来ることを願っています。

## GOTO 勝浦と伊勢海老 実方 洋

この始まりは、丸紅 OB の芙蓉でプレーしているメンバーが集う毎週水曜日のゴルフ仲間（湘紅会メンバーが主力で、毎週水曜日に芙蓉でゴルフをしている）の御国自慢から我が地元千葉県いすみ市が伊勢海老水揚げ日本一と自慢、すると湘紅会の芝崎さん、倉上さんからゴルフ旅行、伊勢海老食べた〜いと提案があり、10 月初旬、有志で勝浦で一泊、2 ラウンド、プレーしました。

勝浦東急ゴルフは、長い、大きいグリーン、キャディ無しでプレー、皆で悪戦苦闘、フレンドリーな芙蓉の有り難みが身に染みました。最大の楽しみは、地場産の魚介、地酒の呑み会。新鮮な伊勢海老、鮑まるごと、堪能しました。タイミング良く、GOTO も始まり、お得感たっぷり、楽しい旅行となりました。

## 酒悦会

### 酒悦会について 児玉利幸

酒悦会は皆様ご承知の通り「酒を楽しむ会」で湘紅会設立当初からお酒の好きな方々が集まって出来た会です。



(右から二人目児玉さん、左隣宮田さん)

私は平成十五年から酒悦会の世話人を引き受けました。宮田さんに後を引き継いで頂いたのは平成三一年ですから十五年になるわけです。会員は当初三十五人ほどで宮田さんに引き継いだ時は十人ほどになっていました。最初の五年ほどは引き継いだ時の勢いで年

に五から六回 多い時で二十名以上 平均で十四-五名集まっていたのですが だんだん人数が多くて十人平均七名程度になり最後の五年は年に数回 集まるのも五人から七人 平成三十年会員が七名になってしまいました。

人数の多い時はイタリア料理店 中華料理 和食料亭大衆料理 などなど ご婦人も多く参加して頂いたのですが女性が減り 男性も歳を召さたりで減り一方新人は垣が高かったのか入ってくれる人はいませんでした。会場を探し案内状を出すと なかでも会場探しが大変でしたが 最後の何年かは 出席する人が大体確定して場所も決まってきた楽になりました。

それでも会員の減少は気になりますし湘紅会の集会でも肩身が狭いので会員の誘い入れに努力したのですが集まらない事に同情されるぐらいでした。負け惜しみですが 酒を本当に楽しむには二十人も三十人も集まって騒々しくでなく大きな声でなく話の出来る精々四-五人がベストで、大勢集まると自然に四-五人のグループに分れそれで酒を酌み交わすことになります。そういうことで五-七人しか集まらなくなっても本当に酒の好きな人たちが集まってくれていると考える事にした次第です。

平成三十年 宮田さんが後を引き継いで頂けることになり令和元年が過ぎ今年から本腰を入れるという時にコロナ騒ぎで足止めをされた形になりましたがコロナ収束後は酒悦会の再出発を成功されると信じています。私も酒が大好きでまだまだ現役で飲み会には参加して酒悦会を致します。

## 囲碁部

### GO TO 碁 松永茂岐

私は、1998 年に湘紅会に 65 才で入会しました。自由人になって念願の碁会所探しを始めたところ、同年配の社友が毎週定期的に数人集まって関内で碁会を開いていると聞きました。当時、碁会所の席料は



1,000 円なのに、ここは昼食・コーヒー・BGM付きで美人がサービスしてくれるとのこと。それが『碁楽遊』です。それ以来、毎週木曜日この碁会所通いが始まりました。会名は通称『うろらん会』と云います。最初は湘紅会と関係ない碁会でしたが、数年経ったころメンバーの交友と拡充を図るため湘紅会の中に囲碁部を立ち上げこれを『うろらん会』と合併させ、今日に至っております。



(松永さん自画像)

現在のメンバーは野口猛彦六段の指導の下に、下手な癖に教えるのが大好きな遣り繰り3段の松永、以下S初段・T初段とつづき後は上級の級位者の数名がいます。

この会の良さは、毎週場所と時間が決まっているので、自分の都合の良いときに顔を出せば相手がいること、会員の碁力は上級から初級まで一通り揃っていること、全員が社友で気心の置けない人たちであること、あります。『碁仇は憎さにもくいと懐かしし』は笠碁という落語のまくらだそうですが、一旦碁仇が出来てしまうともう囲碁の世界から抜け出せなくなり一生の趣味となってくれる素晴らしいゲームなのに継続せずに途中で止めてしまう人が多いことが誠に残念な思いです

囲碁部は規模こそ小さいが長年続いております。昨今は高齢化で参加者は減少傾向にあり新規参加者が少ないのが悩みの種です。湘紅会会員の中には隠れキリシタンならぬ『隠れ囲碁人』が沢山おられます。現況がそのまま続けばいつか、折角の囲碁部も消えてしまうことになり兼ねません。少しでも囲碁に興味の方は是非参加して囲碁部継続にご協力頂きたい。初回参加料は無料、もし参加頂けるならこちらから参加料を差し上げたい位の気持ちです。

尚、近年の物価上昇により、入場料は食事込みで1,500円に改定されました。今年は、コロナ禍により各会合が中断している中、囲碁部は7月頃から、有志会合を開いています。

## 唄会

### 唄会のはじまり

鋤柄正雄

かれこれ 10 年以上前になりましたか、或る年の湘紅会総会の席で青山さん、原さん、山内さん、間々田さん、内田さんらと「このあと何処かへ繰り出そうか？」との話になり、青山さんが「じゃあ 竜胆のママに時間外だけど店を開けてもらおうか」と提案され、ママのOKが取れたので、何人が誘って、お店に乗り込みました。これがきっかけで 毎月一度、週日の午後を 鎌倉小町の老舗バー、竜胆で数時間、歓談し、お酒も少し飲み、歌いあうという集いがスタートしたのです。この集まりのことが湘紅会 top の耳に入ったらしく、2010 年頃 代表世話人から「カラオケ会を会員に周知して正式な部会活動として発足させては」とのお勧めがありました。こうして「唄会」という名で湘紅会の部会に昇格したのです。

## 湘遊会

### 美術鑑賞に関して

塩川明男

この一年は松方コレクションに始まり、コートールド展、オランジェリー展、オルセー展、ゴッホ展、ロンドンナショナルギャラリー展と有名美術館の名作が一挙に日本に押し寄せた。居ながらにしてこれほどの世界の名画を鑑賞できるのは幸せなことである。思い立って自分の名画鑑賞の歴史を振り返ろうと、貯めてあった各美術展の目録を画家別に整理し関連美術館のHPやWEBサイトを訪れ画像を集めてみた。鑑賞の都度目録を購入していれば済んだものだが、依然はそれほどの熱意もなかった。しかしエクセルにまとめたデータは我ながらかなりの力作となり満足のいくものとなった。時同じくして解説書や美術関係の小説にも触れることになりこれまで漠然と本物を見ようとの一心で美術展を観ていたが、この作業を通して画家と作品群のおさらいが出来き、「美術鑑賞が趣味です」と少し言えるようになったかもしれないと感じている。

湘紅俳壇

令和二年師走

三十八度線 風吹くままに 秋の蝶

夜に濡れ 色を深めし 庭の柿

落ち葉踏む 音に深さのありにけり

岡崎 誠之助

夜の静寂(しじま) 破りて通る 焼き芋屋

庭木刈り ひよどりの声 絶えし今朝

伊賀山 欣也

眼薬の さわやかなりて 涼新

雨上がり 花も香もちる 金木犀

聴診器に 身震いの朝 冬に入る

原 知廣



相模湾 師走夕景

**部会連絡先**

参加連絡をお待ちします。

事務局 相田 [yaita1947@nifty.com](mailto:yaita1947@nifty.com)

万歩会 有地 [arichi-y@muse.ocn.ne.jp](mailto:arichi-y@muse.ocn.ne.jp)

ゴルフ会 倉上 [kura0330masa@gmail.com](mailto:kura0330masa@gmail.com)

酒悦会 宮田 [yukinoshita\\_miyata@jcom.home.ne.jp](mailto:yukinoshita_miyata@jcom.home.ne.jp)

唄会 芝碕 [t-48saki@beach.ocn.ne.jp](mailto:t-48saki@beach.ocn.ne.jp)

囲碁会 高橋 [tigers9203@kxd.biglobe.ne.jp](mailto:tigers9203@kxd.biglobe.ne.jp)

湘遊会 青山 [bluemt3970@tj8.so-net.ne.jp](mailto:bluemt3970@tj8.so-net.ne.jp)

**あとがき**

三十周年記念号に、多くの方々に寄稿いただき感謝しています。コロナ下の湘紅会を紙上でお楽しみください。真冬は空気が澄んで丹沢や相模湾の景色が見事です。年末年始、富士山を遠望して、一陽来復をお願いしようと思います。

2021年1月1日

編集 酒井 尚平